

山陽新幹線 厚狭～新下関駅間 保守作業延伸による輸送障害

西日本旅客鉄道株式会社

- 1. 発生日時 2024年 9月23日 (月) 3時57分
- 2. 発生場所 山陽新幹線 厚狭～新下関駅間 976k175m 下り線
- 3. 列車影響

運休 31本、部分運休 44本 遅延本数 121本
 遅延時分 225分～1分、影響人員 71,800人

4. 概況

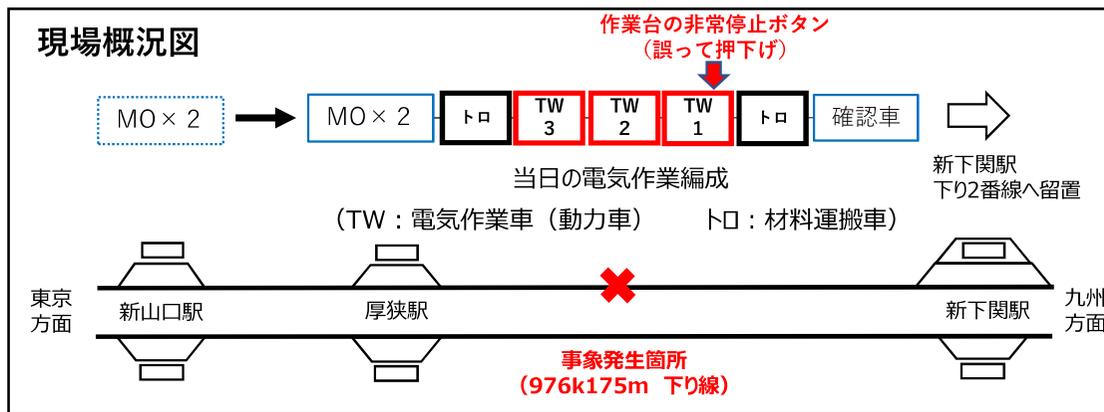
き電線張替作業において①架線接続手順を誤ったため保守作業を延伸し、6時20分に張替作業を終了。その後、作業に使用していた保守用車を保守基地に回送しようとしたところ、②ブレーキが緩まない事象が発生したため、保守基地から救援保守用車を手配。11時32分に当該保守用車を新下関駅に収容し、11時36分に当該区間の運転を再開。

5. 原因

- ①架線を接続する金具の取付手順を誤ったため。
- ②台車付近の調査に集中してしまい、作業台の非常停止ボタンを誤って押下げていたことに気づかなかったため。
 (仮復旧作業で大きく遅延していたことにより相当な焦りがあった)

6. 対策

- ① ・ 圧縮前に正しい接続になることの確認を徹底する。
 ・ 作業の手順誤りを想定し、復旧材料等を準備し作業現場に持込む。
- ② ・ ブレーキが緩解できないときは非常停止ボタンの状態を確認することをマニュアル等に記載し周知徹底する。
 ・ 非常停止ボタンを押下げたことを分かりやすく確認できる構造を検討する。



ブレーキが緩まない事象

